

荒川区景況速報（令和5年4月～6月）

あら坊の景気ウォッチング!



全業種の動向

1 今期（4～6月）・次期（7～9月）の業況判断

※D Iとは、「良い」と回答した企業の割合－「悪い」と回答した企業の割合
荒川区の今期は▲30.7（前回調査時▲32.5）とほぼ横ばい。次期は▲33.3とやや悪化と予想されている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では改善、東京都でも改善の予想となっている。

2 今期（4～6月）の売上（1～3月と比較した状況）

「増加した」が20.5%、「あまり変わらない」が40.4%、「減少した」が39.1%となっている。

3 最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか

「大いにマイナスの影響があった」が23.2%、「マイナスの影響があった」が58.3%、「変わらない」が17.9%、「プラスの影響があった」が0.7%、「大いにプラスの影響があった」が0.0%となっている。

4 「原材料」や「原油」などの高騰によりマイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください

「仕入価格の上昇」が34.7%、「売上高、販売実績の減少」が16.5%、「運搬等のコスト増加」が16.5%、「コスト増加分の価格転嫁が困難」が14.5%、「製造工程でのコスト増加」が7.7%、「取引先・親会社からの受注減少」が7.7%、「その他」が2.4%となっている。

5 原材料・原油価格高騰を受けたコスト増加分の価格転嫁について、当てはまるものを教えてください

「全て転嫁できている」が5.4%、「半分以上は転嫁できている」が42.2%、「転嫁できたのは半分に満たない」が25.2%、「全く転嫁できていない」が20.4%、「コストが増加していないため転嫁する必要がない」が6.8%となっている。

6 貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください

「特になし」が23.7%、「デジタル機器を活用した業務改善や企業改革（DX）の推進」が22.3%、「後継者の育成や確保」が22.3%、「災害等に備えるための事業継続計画（BCP）の作成」が10.4%、「温室効果ガスの排出量ゼロ（カーボンニュートラル）に向けた生産性改善や企業価値向上」が5.7%、「事業の売却や譲渡（M&A）」が5.2%、「国連が目標として定める様々な社会課題（SDGs）の解決に向けた企業経営の推進」が4.7%、「その他」が4.7%となっている。

* 調査方法等

今回の調査は、業種別構成比に基づき、抽出した区内中小企業200事業所を対象に、今期と次期について調査を行いました。調査票は令和5年6月10日に発送し、151事業所から回答（回収率75.5%）がありました。また、集計値は四捨五入で表記しています。

（問合せ）荒川区 産業経済部 産業振興課 管理係 担当 山本・益子
電話：03（3802）3111 内線：446

1 今期（4～6月）・次期（7～9月）の業況判断

(1) 全業種

荒川区の今期は▲30.7（前回調査▲32.5）とほぼ横ばい、次期は▲33.3 とやや悪化の予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では改善、東京都でも改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	1～3月	▲32.5	4～6月	▲30.7	7～9月	▲33.3	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	1～3月	▲13.7	4～6月	▲10.8	7～9月	▲6.4	
東京都（東京都 中小企業の景況）	2月	▲26.0	5月	▲18.0	6～8月	▲14.0	

(2) 製造業

荒川区の今期は▲40.5（前回調査▲35.0）と悪化、次期は▲25.0 と大幅に改善の予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では改善、東京都ではやや改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	1～3月	▲35.0	4～6月	▲40.5	7～9月	▲25.0	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	1～3月	▲13.6	4～6月	▲10.4	7～9月	▲3.5	
東京都（東京都 中小企業の景況）	2月	▲25.0	5月	▲18.0	6～8月	▲15.0	

(3) 卸売業

荒川区の今期は▲50.0（前回調査▲38.1）と大幅に悪化、次期は▲50.0 と横ばいの予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では大幅に改善、東京都でも改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	1～3月	▲38.1	4～6月	▲50.0	7～9月	▲50.0	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	1～3月	▲9.8	4～6月	▲9.3	7～9月	0.1	
東京都（東京都 中小企業の景況）	2月	▲22.0	5月	▲12.0	6～8月	▲8.0	

(4) 小売業

荒川区の今期は▲25.7（前回調査▲35.9）と大幅に改善、次期は▲38.9 と大幅に悪化の予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では改善、東京都では大幅に改善の予想となっている。

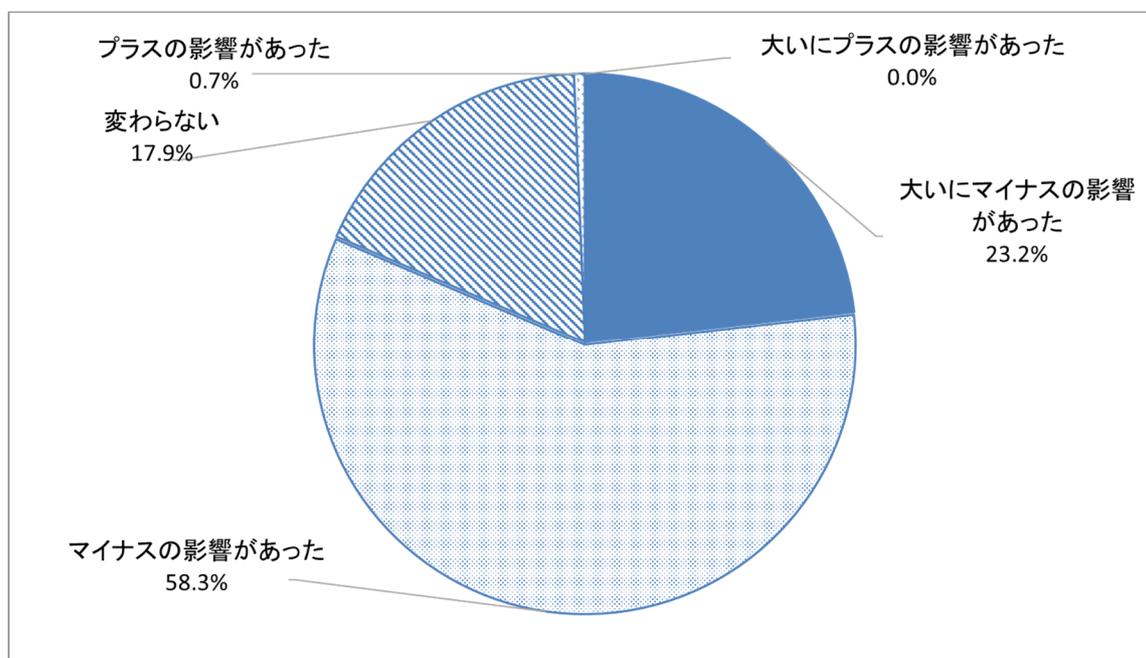
調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	1～3月	▲35.9	4～6月	▲25.7	7～9月	▲38.9	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	1～3月	▲22.9	4～6月	▲22.1	7～9月	▲15.0	
東京都（東京都 中小企業の景況）	2月	▲39.0	5月	▲31.0	6～8月	▲19.0	

2 今期（4～6月）の売上（1～3月と比較した状況）

「増加した」が20.5%、「あまり変わらない」が40.4%、「減少した」が39.1%となっている。
（前回調査 「増加した」：17.2%、「あまり変わらない」：36.9%、「減少した」：45.9%）
業種別では「増加した」が、製造業では16.2%、卸売業では10.5%、小売業では25.0%となっている。

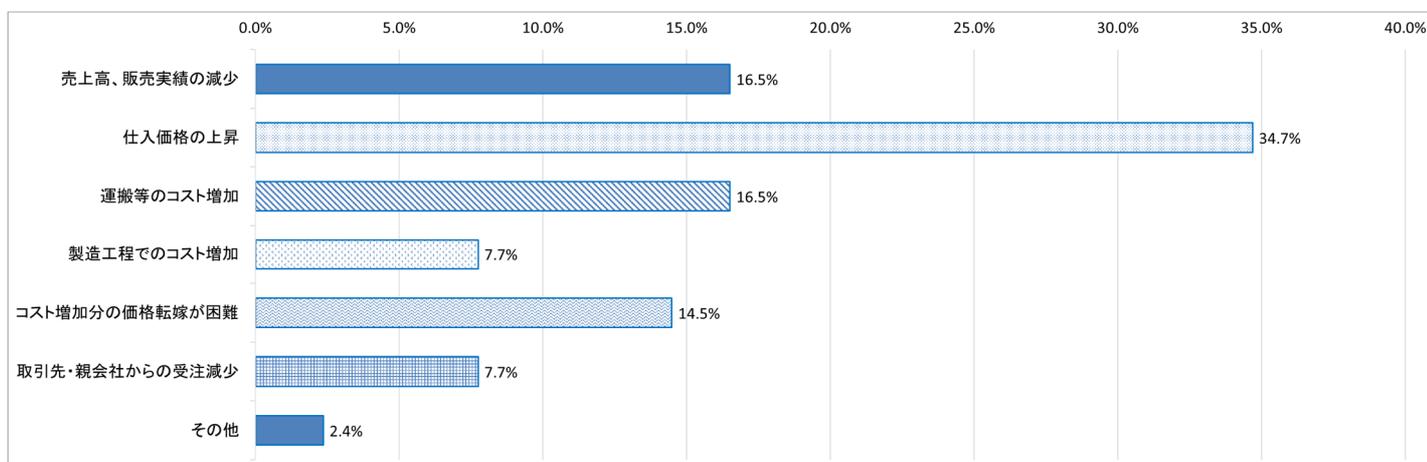
3 最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか

「大いにマイナスの影響があった」が23.2%、「マイナスの影響があった」が58.3%、「変わらない」が17.9%、「プラスの影響があった」が0.7%、「大いにプラスの影響があった」が0.0%となっている。

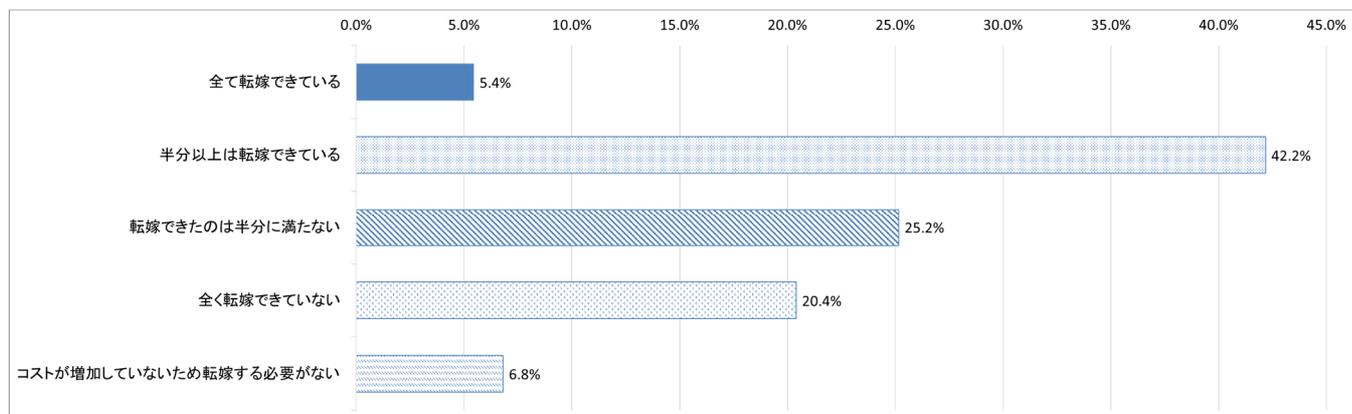


マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください。

「仕入価格の上昇」が34.7%、「売上高、販売実績の減少」が16.5%、「運搬等のコスト増加」が16.5%、「コスト増加分の価格転嫁が困難」が14.5%、「製造工程でのコスト増加」が7.7%、「取引先・親会社からの受注減少」が7.7%、「その他」が2.4%となっている。

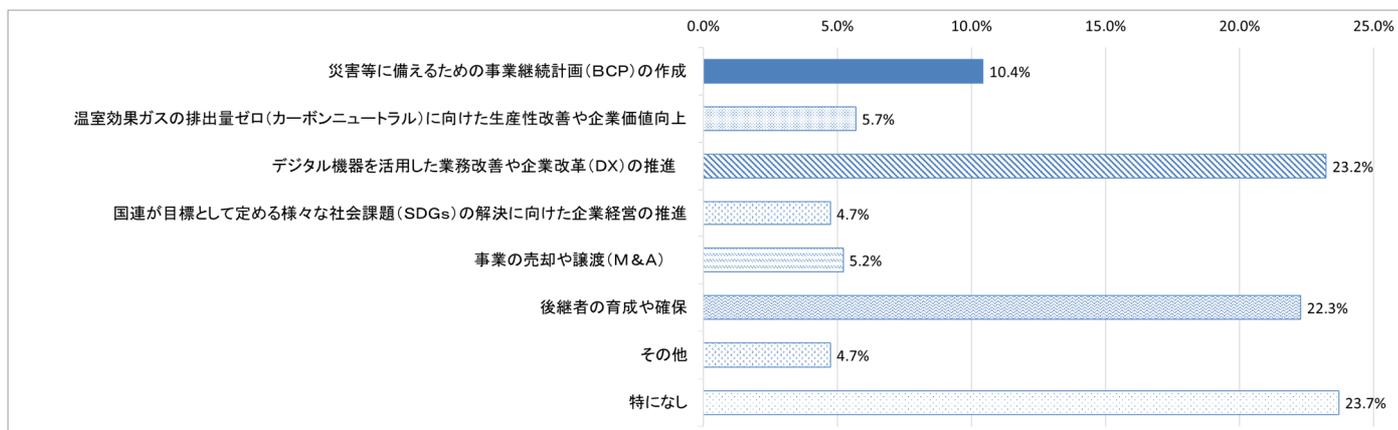


原材料・原油価格高騰を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください。
 「全て転嫁できている」が5.4%、「半分以上は転嫁できている」が42.2%、「転嫁できたのは半分に満たない」が25.2%、「全く転嫁できていない」が20.4%、「コストが増加していないため転嫁する必要がない」が6.8%となっている。



貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください

「特になし」が23.7%、「デジタル機器を活用した業務改善や企業改革(DX)の推進」が23.2%、「後継者の育成や確保」が22.3%、「災害等に備えるための事業継続計画(BCP)の作成」が10.4%、「温室効果ガスの排出量ゼロ(カーボンニュートラル)に向けた生産性改善や企業価値向上」が5.7%、「事業の売却や譲渡(M&A)」が5.2%、「国連が目標として定める様々な社会課題(SDGs)の解決に向けた企業経営の推進」が4.7%、「その他」が4.7%となっている。

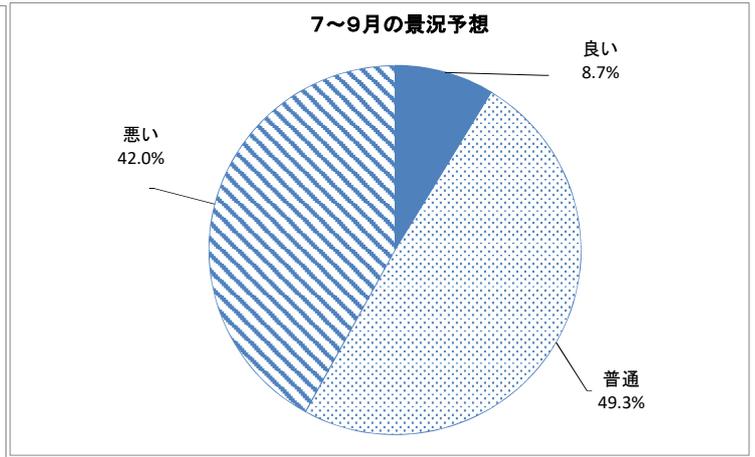
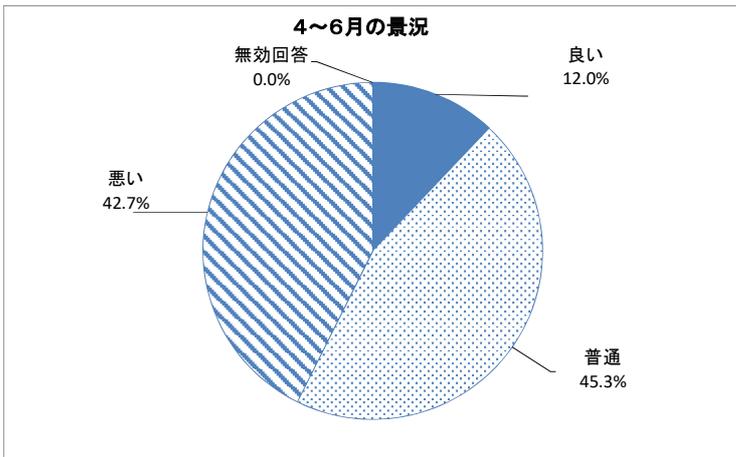


4 主な自由意見等

業種	内 容
製造	原材料費高騰のため、材料費・消耗品の価格が30%～80%上昇している。個人経営はかなり厳しい状況である。
製造	得意先のうち大手企業に対してはコスト増加分の価格転嫁は難しい。他半分の企業は価格転嫁していただいたが先き行きは不安だ。
卸売	流通ルートが変わってきているが、なかなか対応出来ていない。また、海外からの仕入れ商品は為替レートの影響で、だいぶ厳しい状況が続いている。
卸売	コロナ禍は収束してきたものの卸売販売は減少が続いており、ほぼ小売りとなってきた。仕入れ先や販売者も減っており、厳しい状況である。
サービス	当社の待遇改善（給与を含む）等は、大手企業のようにではなく、例年通りの昇給にとどまった。大部分の中小企業は対応出来ていないと思われる。
サービス	仕入れ値が上がり続けていて、6月に入ってから値上げ（売価）の方向で動き出している。売り上げ減少が予想される。
サービス	（飲食店経営）去年より売り上げは増加傾向にあるが、お客様の早帰りが目立つ。これは当面続きそうだと考えている。
サービス	店舗経営を継続していくために、引き続き人材育成が課題である。
小売	イベント再開により若干売上げが戻ったが、日常の売り上げは依然として落ち込んでいる。
建築	人材確保に苦戦しており、仕事を受注したくとも出来ない状況が続いている。

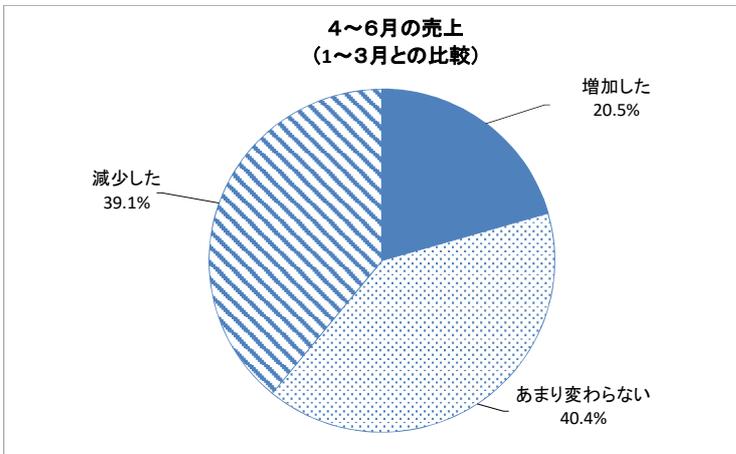
令和5年4～6月 あら坊の景気ウォッチング[全業種]

有効回答151事業所

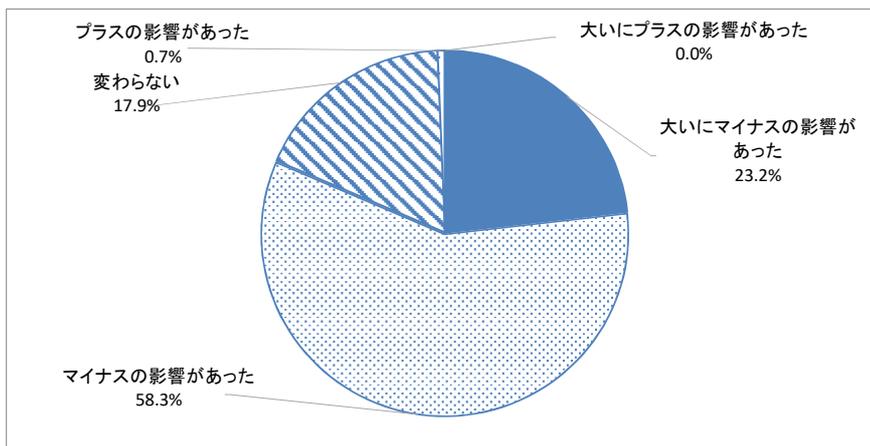


DI ▲ 30.7 = 12(良い) - 42.7(悪い)

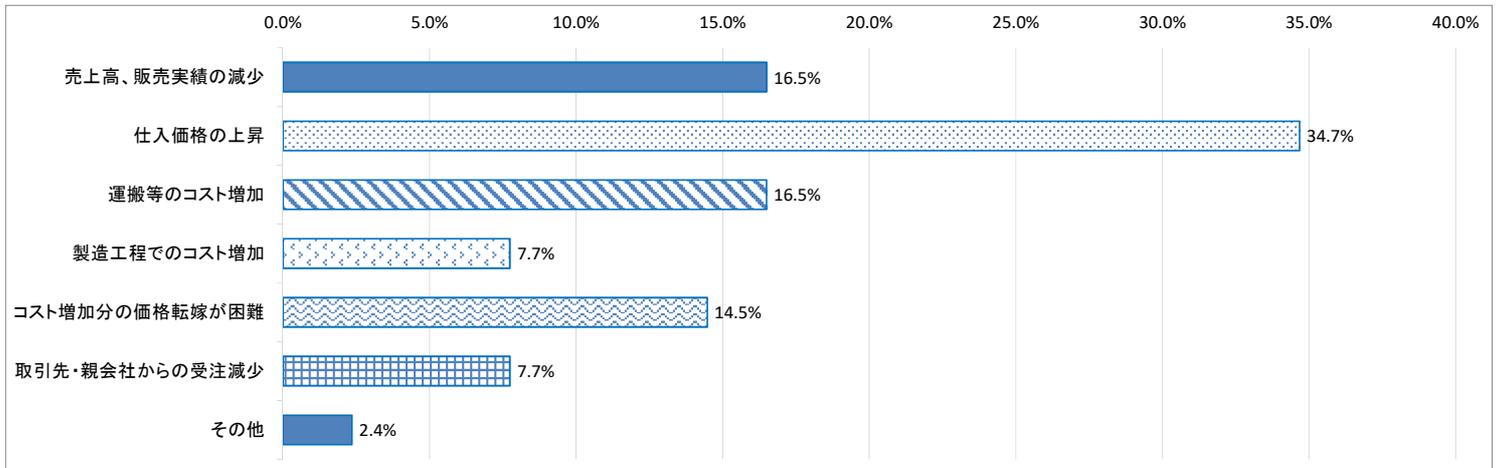
DI ▲ 33.3 = 8.7(良い) - 42(悪い)



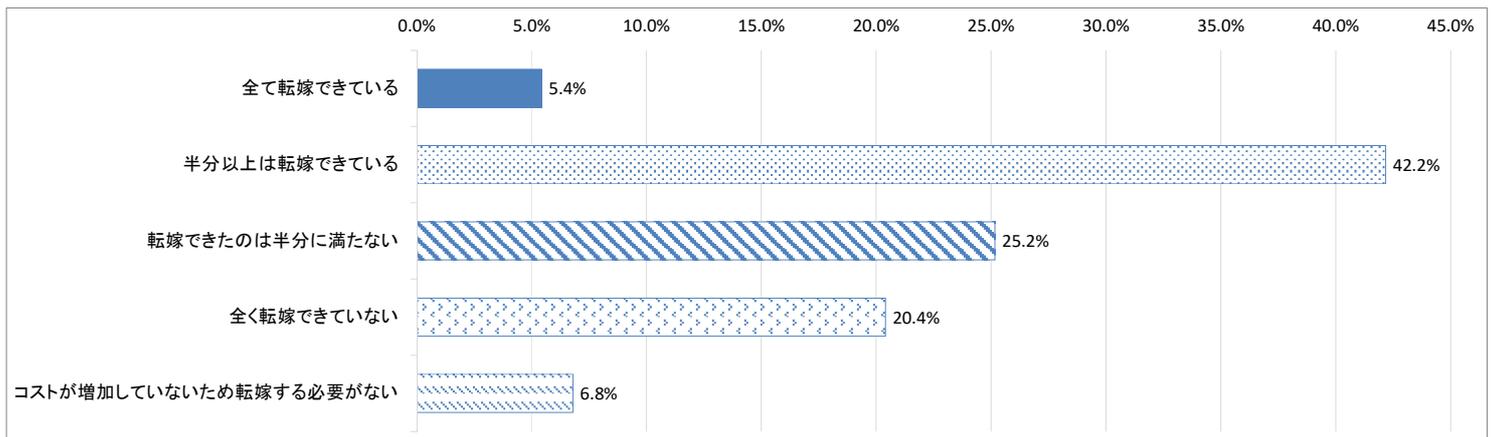
最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか



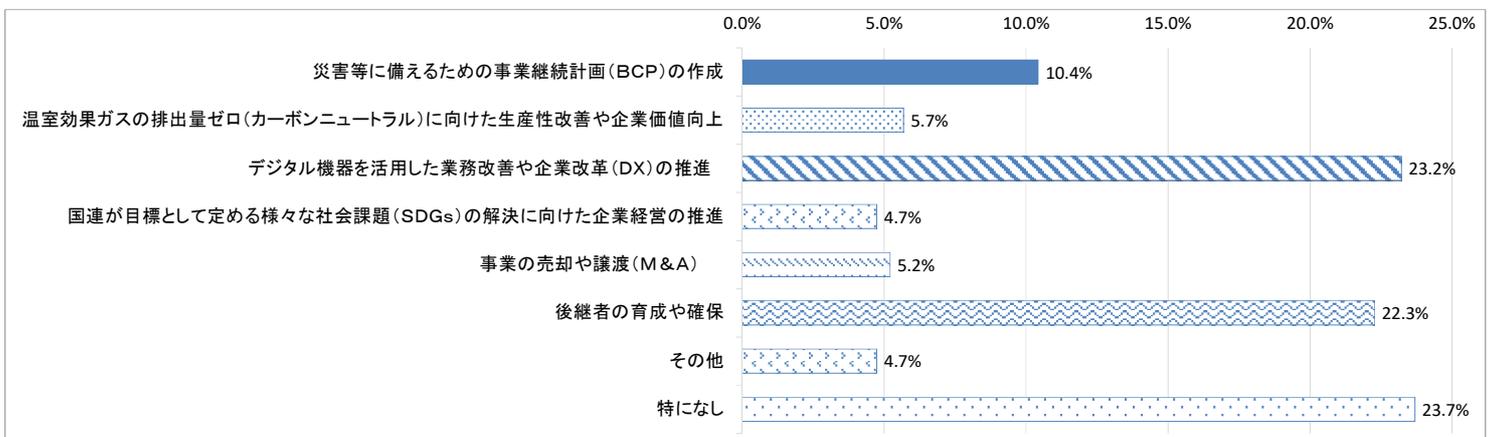
マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください。



原材料・原油価格高騰を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください。

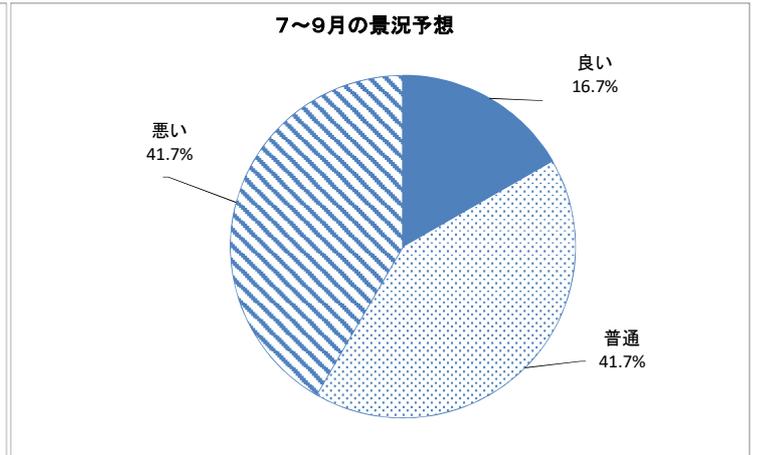
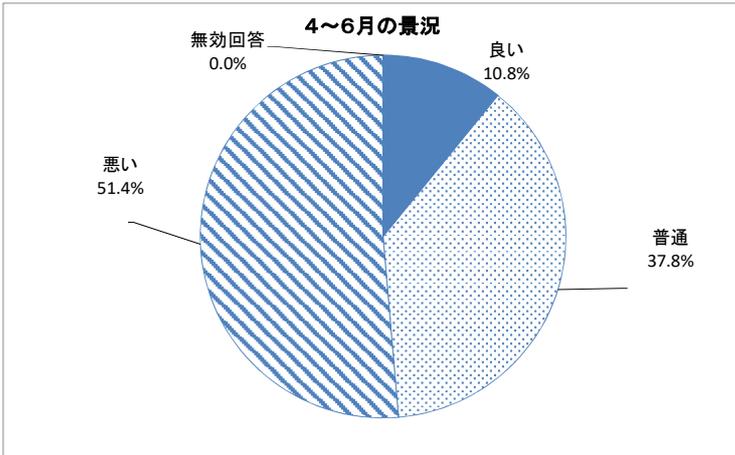


貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください



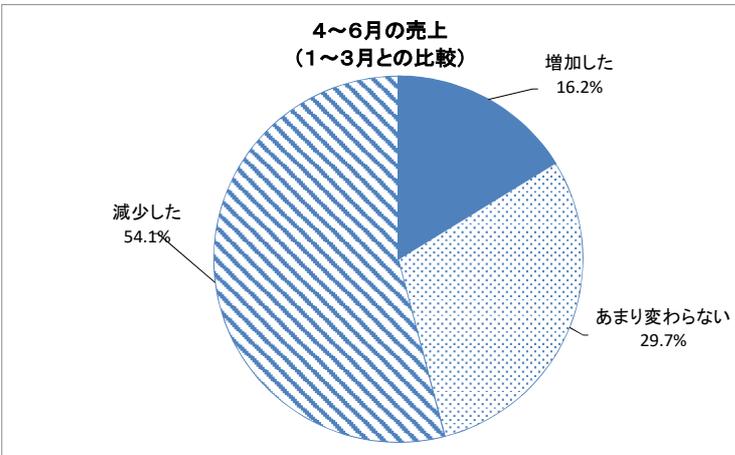
令和5年4～6月 あら坊の景気ウォッチング[製造業]

有効回答37事業所

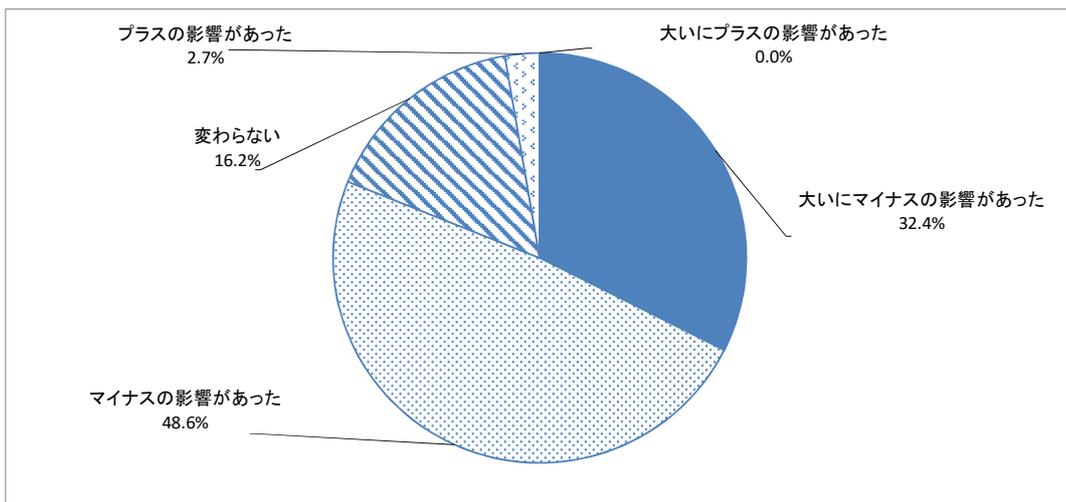


DI ▲ 40.5 = 10.8(良い) - 51.4(悪い)

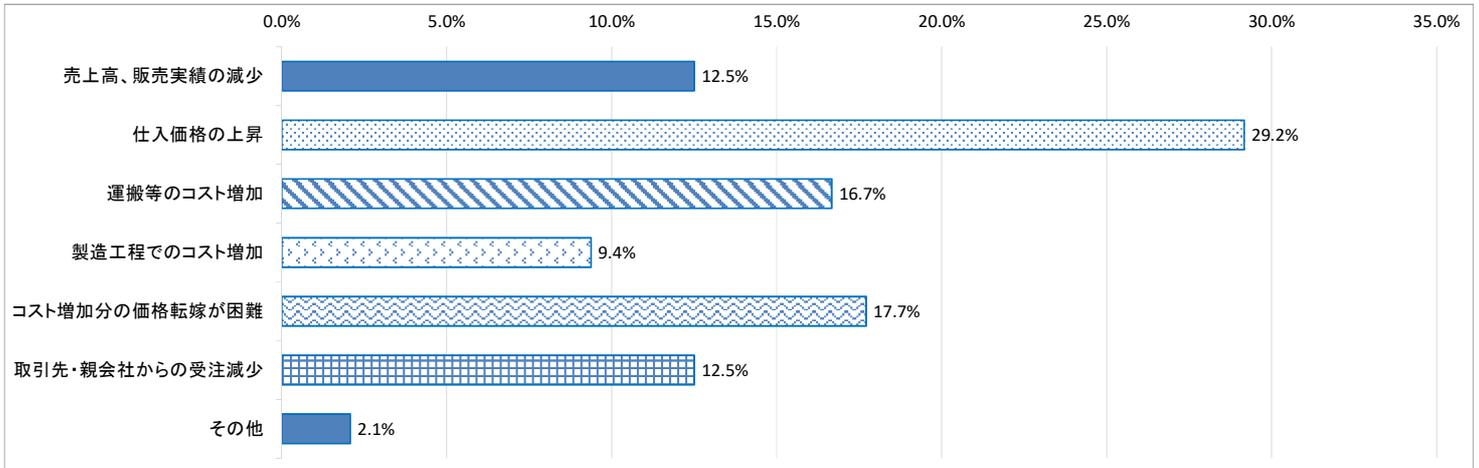
DI ▲ 25.0 = 16.7(良い) - 41.7(悪い)



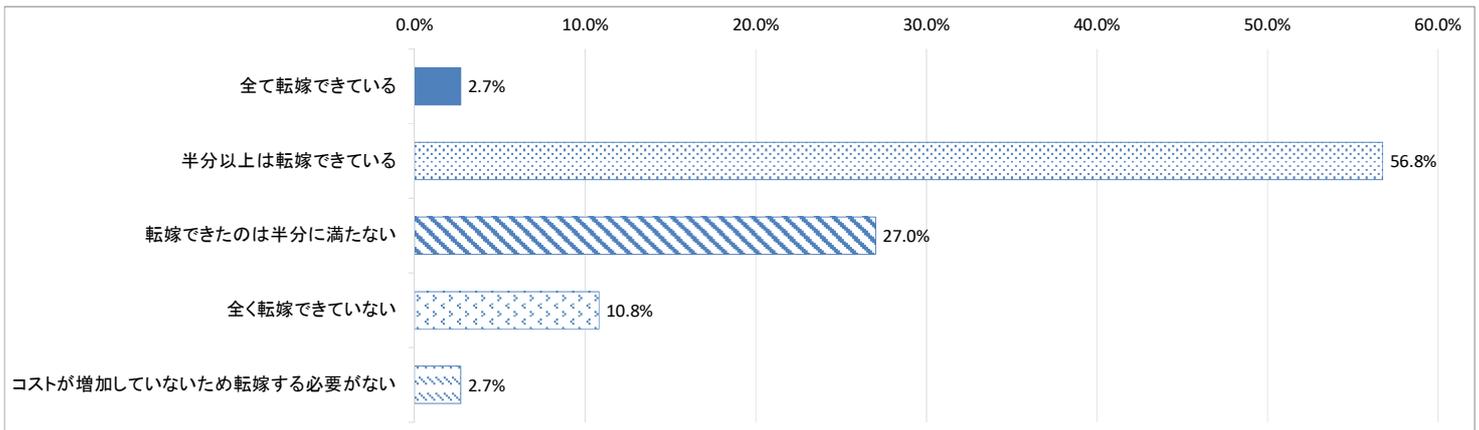
最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか(番号に○)



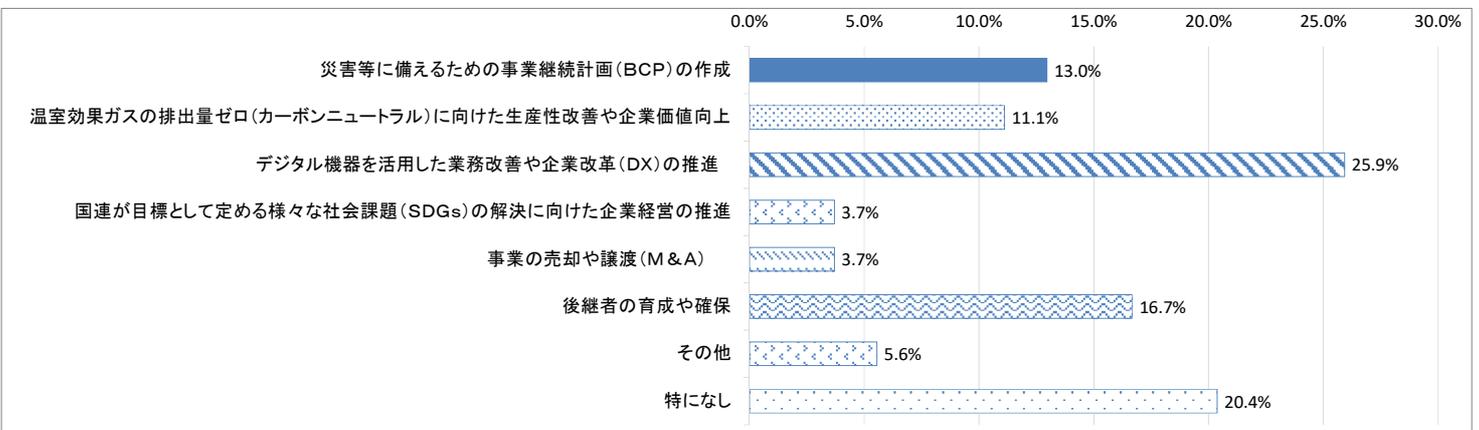
社会経済状況の変動がづくなく、貴社の現在の経営課題について、当てはまるものを教えてください



原材料・原油価格高騰を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください。

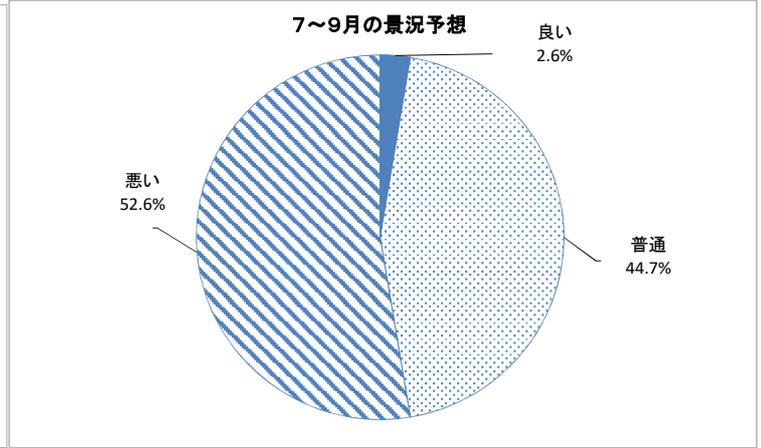
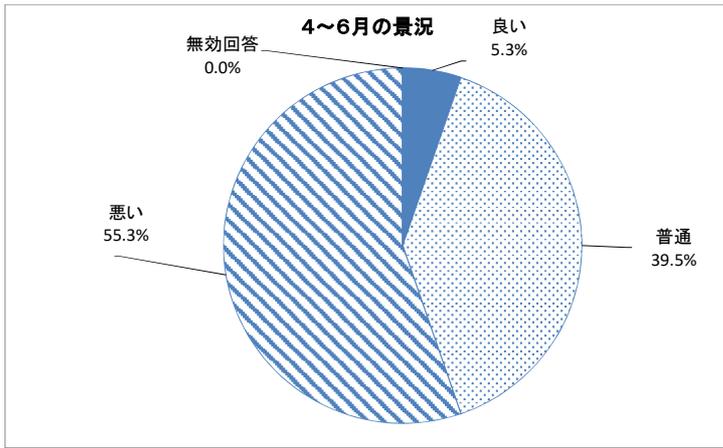


貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください



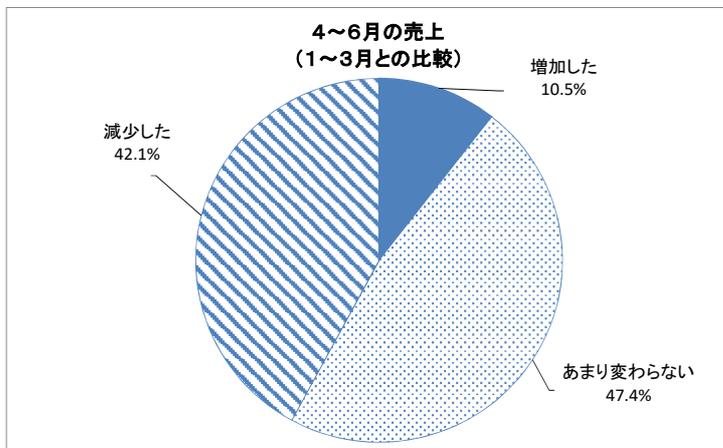
令和5年4～6月 あら坊の景気ウォッチング[卸売業]

有効回答38事業所

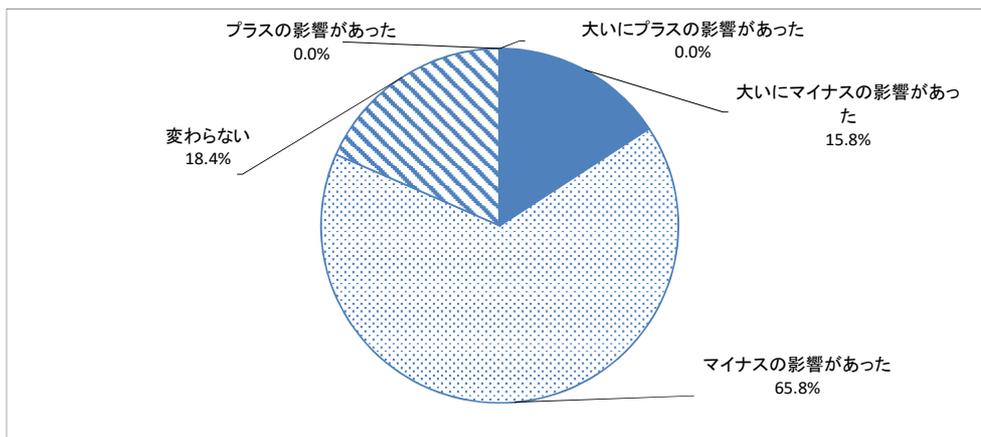


DI ▲ 50.0 = 5.3(良い) - 55.3(悪い)

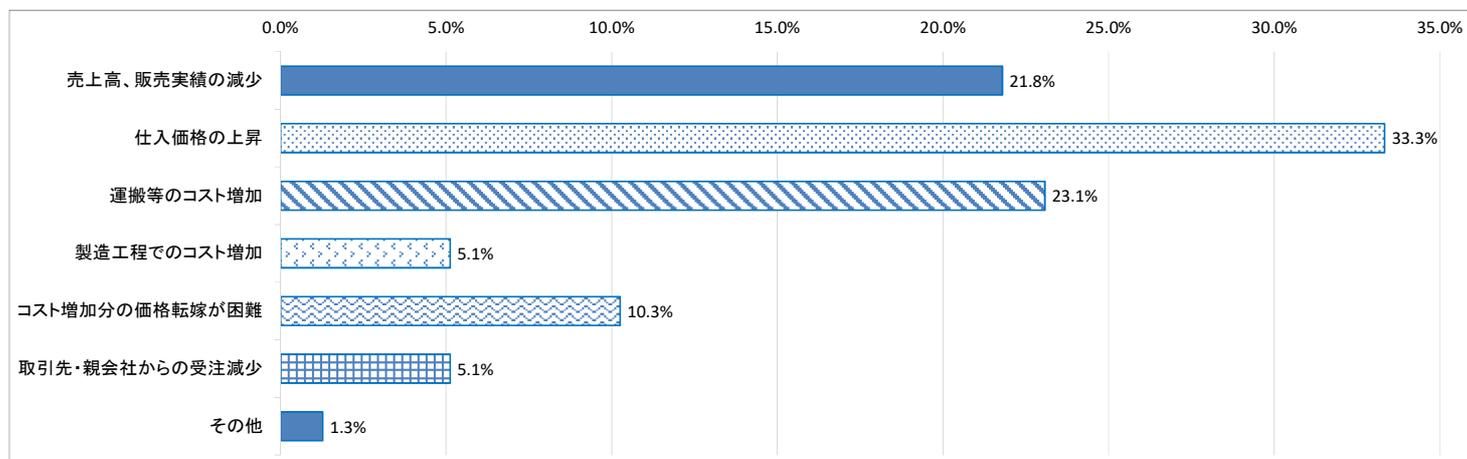
DI ▲ 50.0 = 2.6(良い) - 52.6(悪い)



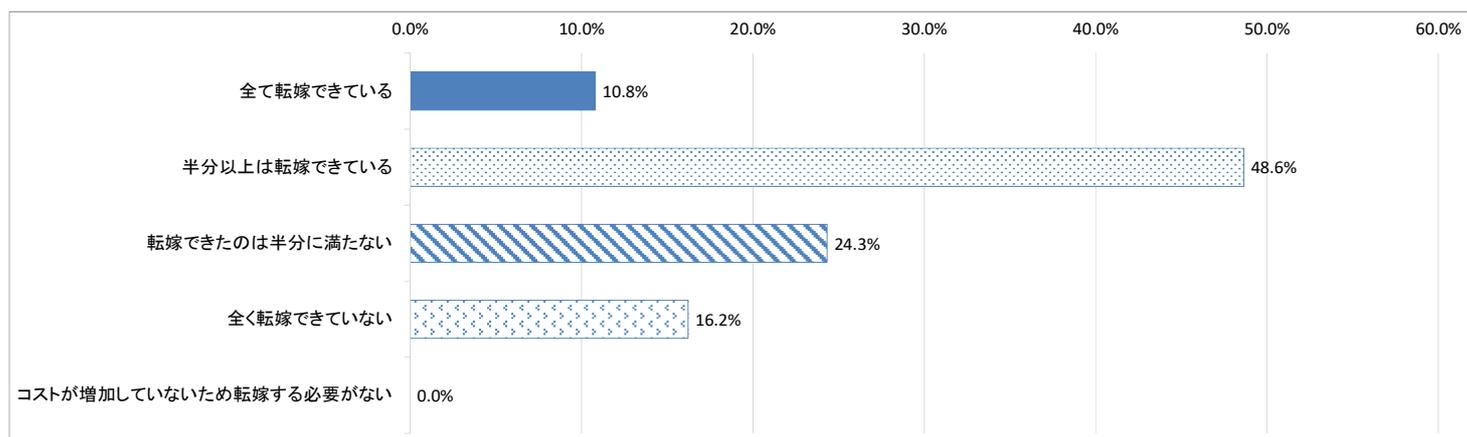
最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか(番号に○)



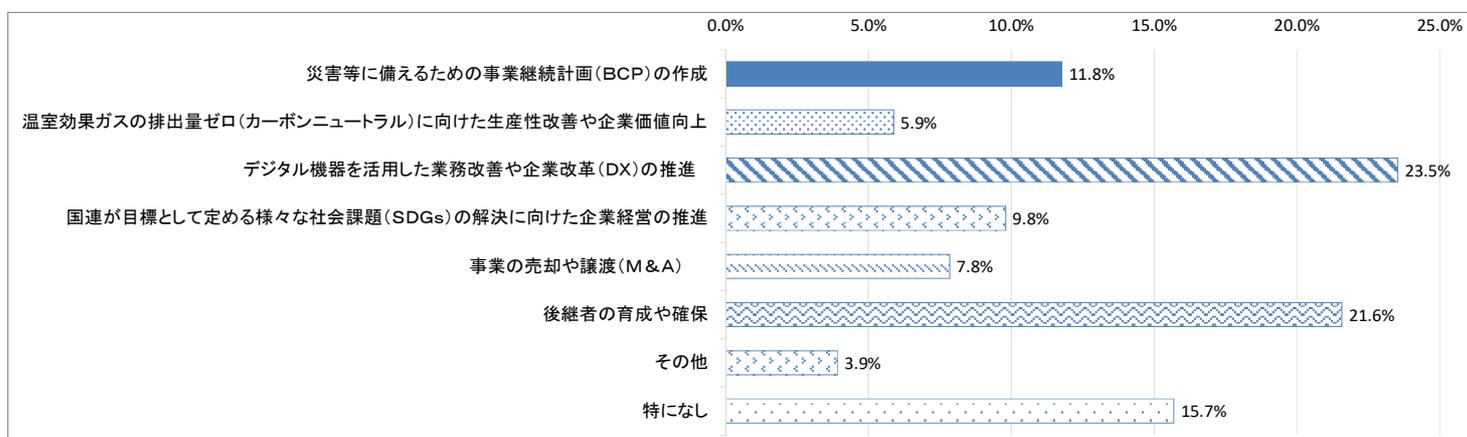
マイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください。



原材料・原油価格高騰を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください。

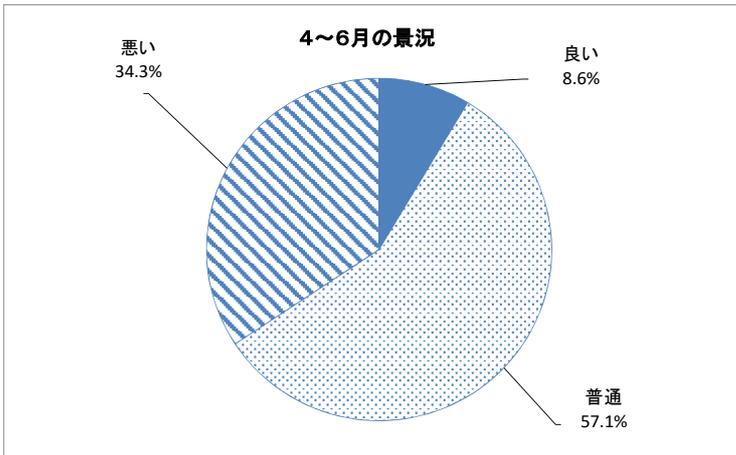


貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください

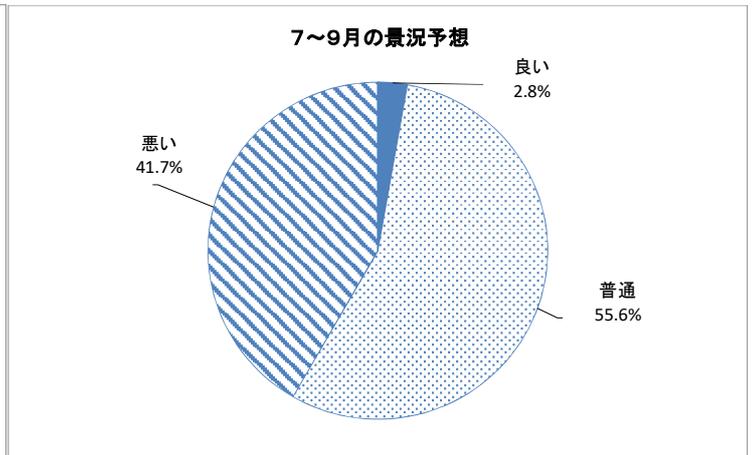


令和5年4～6月 あら坊の景気ウォッチング[小売業]

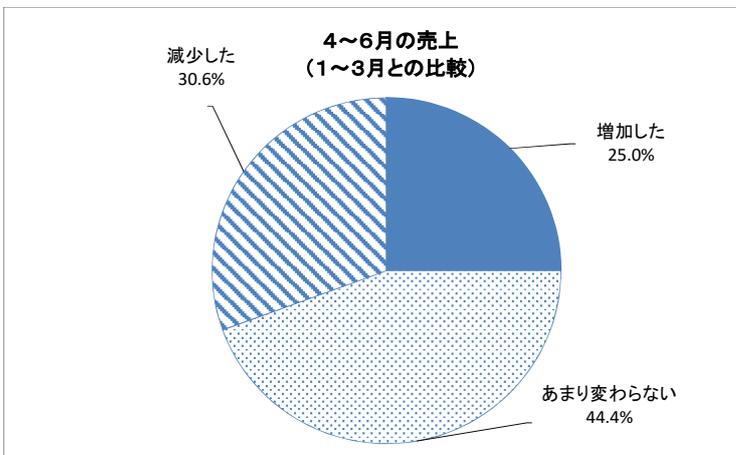
有効回答36事業所



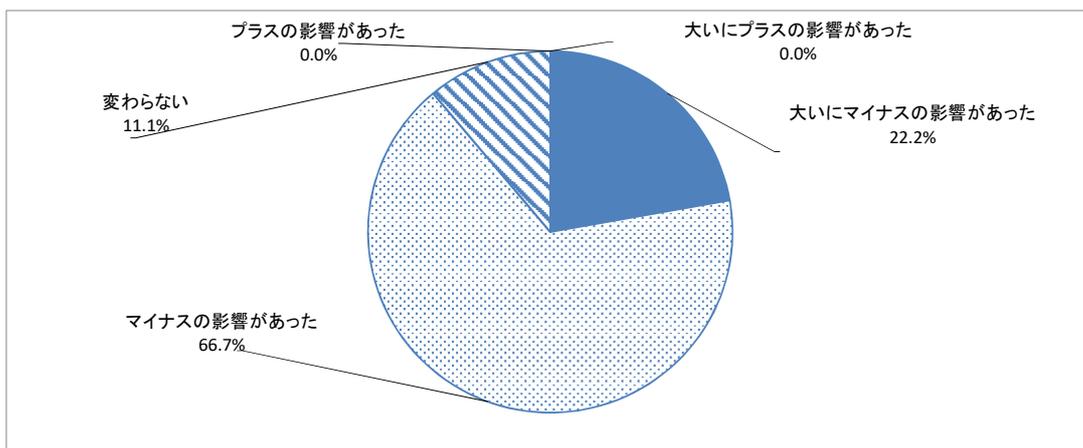
DI ▲ 25.7 = 8.6(良い) - 34.3(悪い)



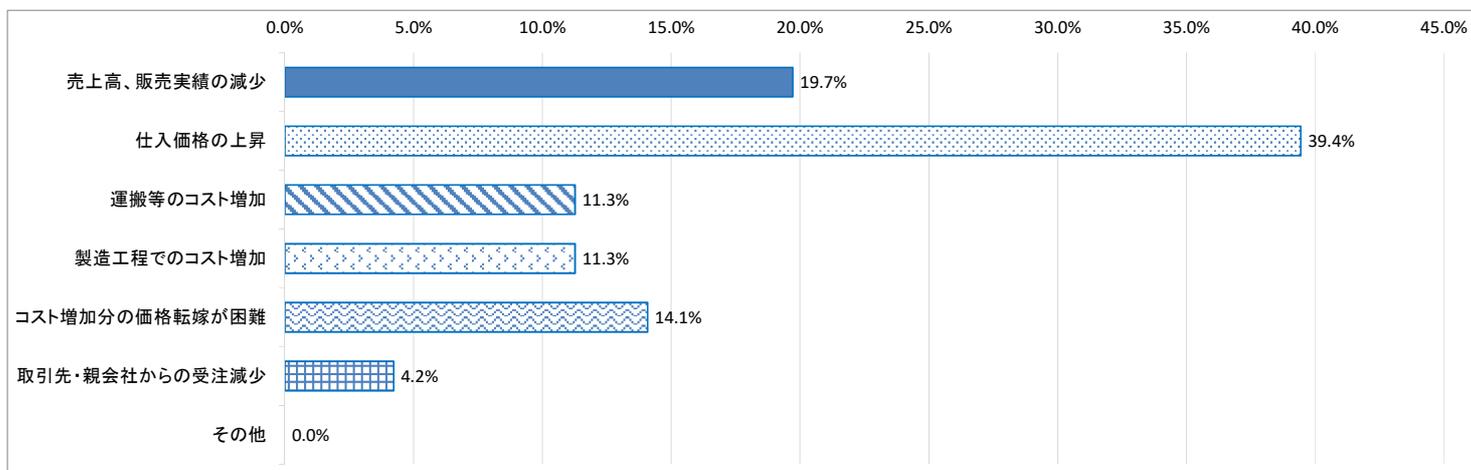
DI ▲ 38.9 = 2.8(良い) - 41.7(悪い)



最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか(番号に○)



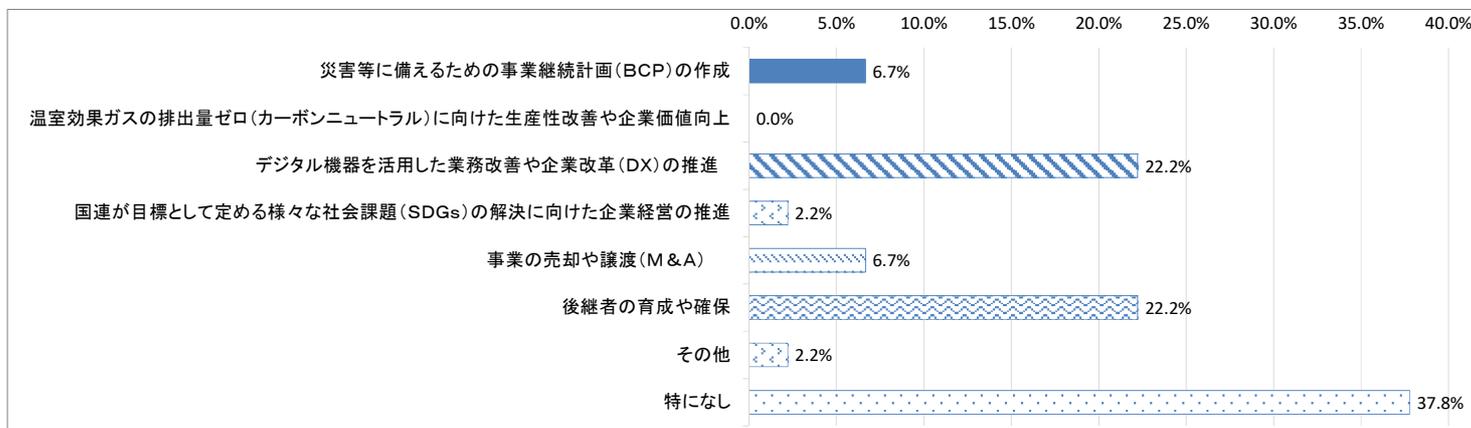
マイナスの影響を受けていつ内容について、当てはまるものを教えてください。



原材料・原油価格高騰を受けたコスト増加分の価格転嫁について、貴社に当てはまるものを教えてください。

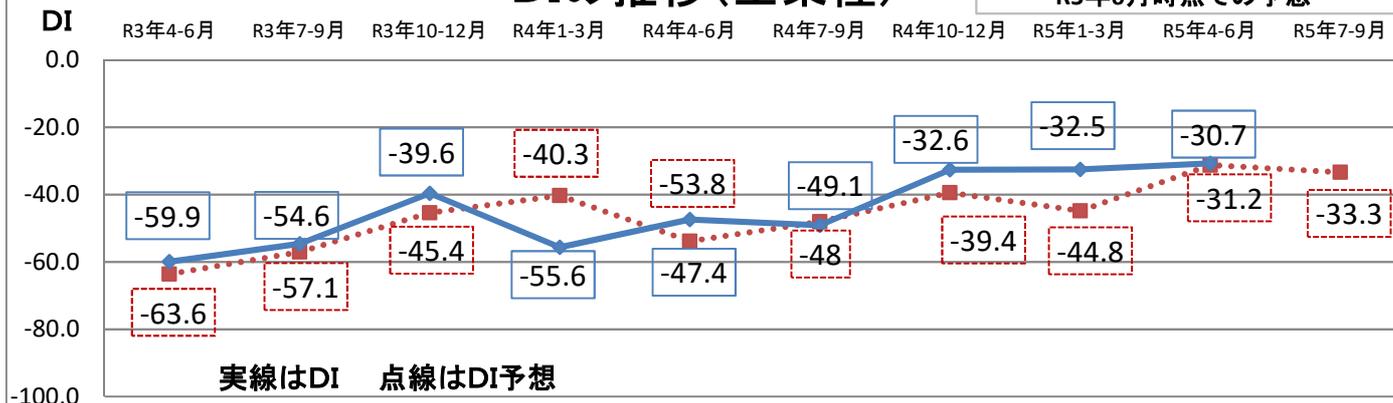


貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください

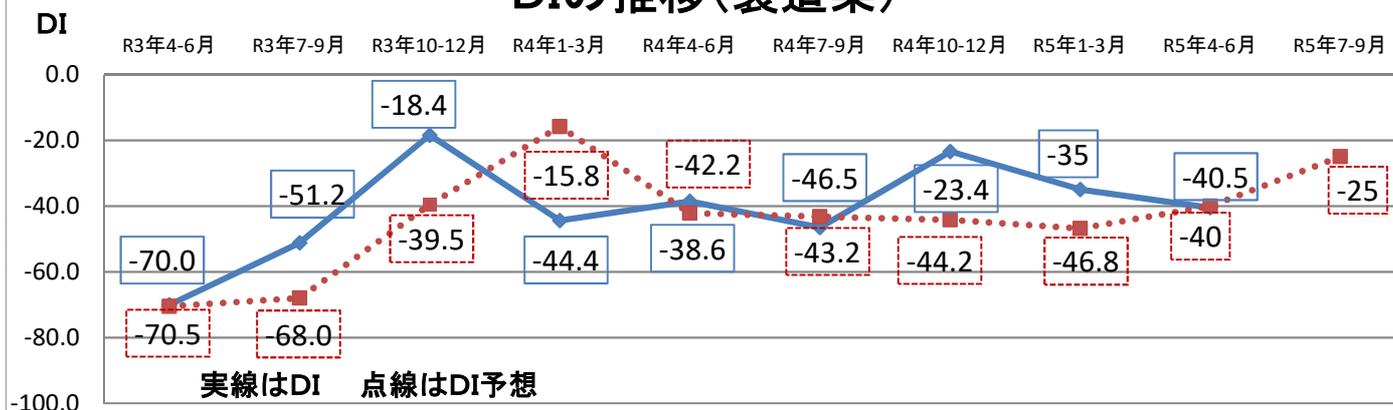


DIの推移(全業種)

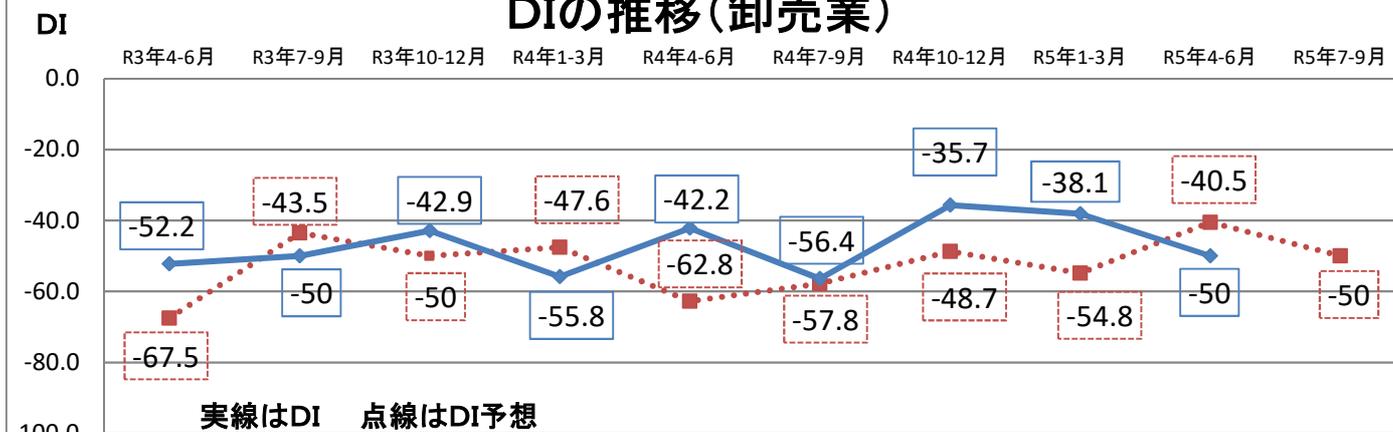
(例)DI予想のR5年7~9月は、
R5年6月時点での予想



DIの推移(製造業)



DIの推移(卸売業)



DIの推移(小売業)

